

大牟田ビンテージのまち株式会社 代表取締役
グリーンバード大牟田チーム 代表
大牟田日本フィルの会事務局

富山 博史 さん



このまちを好きに
なってほしいから



上／令和2年7月豪雨災害時には、物資支援などのボランティアを行いました 下／はらハーモニーコーヒリーの打ち合わせも回数を重ねました

家業を継ぐ形で不動産業に携わることになり、空き家・空きビル問題を解決するために、リノベーションに取り組むようになりました。しかし、自社の物件だけがよくなったと、周辺の環境が改善しないと人の流れが生まれず、また、子どもたちが「このまちに残りたい。大牟田で何か始めたい」と思うようなまちにしたいと「まちづくり」について考えるようになりました。

そこで、2014年に「大牟田ビンテージのまち株式会社」を設立し、地域のみなさんと一緒にDIYリノベーションの取り組みを始めました。店舗のオーナーさんと地域の皆さんが触れ合い、共同作業することで、たくさんの方がお店や商店街に対して愛着を持つようになってくれました。この事業の相乗効果で新規出店が増え、商店街に活気が戻りつつあります。

また、この時期に同時に始めたのが清掃活動です。「きれいな街は人の心

もきれいにする」をコンセプトにしたボランティア団体「グリーンバード」の取り組みに共感し、大牟田チームを立ち上げました。家族連れで参加される方も多く、とてもうれしいですね。

ここ数年は、大牟田日本フィルの会事務局にも関わっています。大牟田に根付いた大切な音楽文化を絶やしてはいけないと、活動を始めました。本物の音に触れ感激し、「ひとりでも多くの人に聴いてもらいたい」という思いで活動を続けています。

今春から「駅前のにぎわいを」と、大牟田駅西口前広場でカフェをオープンしました。小さなカフェですが、さまざまな事業を展開し、新しい価値を創り出したいと思っています（詳しくは8ページをご覧ください）。

大牟田に住んでいる人、また、大牟田を訪れた人にこのまちを好きになってももらえるよう、これからもさまざまな事業・活動を続けていきたいです。

編集後記

▼最近、県外の少し離れたまちへ出かけることに。初めて会う方ばかりでしたが、皆さんとても気さくに話してくださり、一気にそのまちが好きになりました▼まちの印象を左右するのは、そこで出会う人の笑顔▼新しい土

地での生活を始める人が多い4月。この広報紙を読んでもくれている人の中にも、期待と不安を抱えて引っ越してきた人が▼皆さんにとってこのまちでの生活が希望に満ちたものがありますように。ようこそ大牟田へ！（M）

中村 哲さんが愛した アフガニスタンとは？



Vol.2

アフガニスタンで盛んなスポーツ

国民的スポーツと言われているのはクリケットです。2019年のワールドカップに出場するほどの実力を持っています。

また、アフガニスタンのスポーツで忘れてはいけないのは国技である「ブズカシ」です。ペルシャ語で「ヤギ (buz) を引きずる (kashi)」という意味をもつこの競技は、もともとは2組の騎馬隊によるヤギの奪い合いが起源と言われています。



Twitterで
情報発信中



大牟田市は、アフガニスタンのホストタウンです